

中野区教育委員会会議録

令和4年第8回定例会

令和4年3月11日

中野区教育委員会

令和4年第8回中野区教育委員会定例会

○日時

令和4年3月11日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時34分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 岡本 淳之

教育委員会委員 村杉 寛子

教育委員会委員 田中 英一

○出席職員

教育委員会事務局次長 青山 敬一郎

参事（子ども家庭支援担当） 小田 史子

子ども・教育政策課長、学校再編・地域連携担当課長

濱口 求

指導室長 齊藤 光司

学校教育課長 松原 弘宜

子ども教育施設課長 塚本 剛史

○書記

教育委員会係長 香月 俊介

教育委員会係 伊藤 芽依

○会議録署名委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 岡本 淳之

○傍聴者数

6人

○議事日程

1 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

- ① 3月5日 令和3年度中野区教育委員会表彰式
- ② 3月9日 令和3年度中野区立学校退職校長等感謝状贈呈式

(2) 事務局報告

- ① 中野本郷小学校校舎等整備基本構想・基本計画（案）について（子ども教育施設課）
- ② 平和の森小学校校舎等整備基本構想・基本計画（案）について（子ども教育施設課）

○議事経過

午前 10 時 00 分開会

入野教育長

定足数に達しましたので、教育委員会第 8 回定例会を開会いたします。

それでは議事に入ります。

本日の会議録署名委員は岡本委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりでございます。

それでは日程に入ります。

<教育長及び委員活動報告>

入野教育長

報告事項に入ります。

初めに、教育長及び委員活動報告をいたします。

事務局から報告願います。

子ども・教育政策課長

3月5日土曜日、令和3年度中野区教育委員会表彰式に入野教育長が出席されました。

3月9日水曜日、令和3年度中野区立学校退職校長等感謝状贈呈式に入野教育長が出席されました。

以上でございます。

入野教育長

各委員から活動報告がございましたらお願いいたします。

岡本委員

直接私の活動というわけではないのですが、入野教育長から、開会前にご挨拶があったように、世界の情勢が気がかりで、皆さん本当に気をもんでいらっしゃると思うのですが、私たちも、ただ生活必需品が値上がりするから、自分の生活に影響があるからとかだけではなくて、もっといろんなことにしっかり関心を持てるように、学び続けたいといけないなと思いました。

学校でどう取り上げていくかというのはこれからの話だと思うのですが、現時点でできることとして、報道ではロシア関係の方々やお店への中傷とか、攻撃が起きているというのを見まして、区内の学校で、そういうことをもしも把握していらっしゃるようでしたら、教えていただけますか。

指導室長

現在は学校から、そのような連絡や報告というのは受けてはございません。

入野教育長

教育委員会といますか、指導室のほうからも、そういうことに関して、学校のほうへ、通知というわけではないですけども、助言はしているようでございます。

よろしいでしょうか。

それでは私のほうで報告させていただきます。

先ほどお話がありましたように、令和3年度中野区教育員会表彰式を行ってまいりました。区長、議長、それから子ども文教委員長の来賓をお迎えしまして、今年が40組、表彰、褒状、感謝状の対象者でいらっしゃるのですけれども、校長先生はまた別個にということで、極力人を減らすということで、2部制の式にさせていただきます、ご出席も無理なくとお話をしたのですが、37組来ていただきました。

昨年度は、やはりコロナ禍で部活動等ができませんでしたので、表彰対象者も少のうございましたけれども、今年度はいろいろな形で、子どもたちも頑張ってくれたかなと思います。

様々書写ですとか、スポーツ系ですとか、ディベートというのもございました。いろいろな表彰対象者がいましたので、子どもたちがそれぞれに頑張っている様子が見られてよかったかなと思っております。ご指導いただいた学校関係者や保護者の方にもお礼を申し上げたところでございます。

引き続き、中野区立学校退職校長等感謝状贈呈式を校長会に先立ちまして行いました。本年は幼稚園園長お1人が定年退職に当たりますので、表彰状を差し上げたところでございます。

幼稚園はいろいろな歴史をたどってきておりまして、園長自身も振り返りますと、地方分権で都の職員から区の職員になったりとか、中野区で言えば、幼稚園のこれからのあり方についても様々あったということで振り返っております。これからも大事な幼児教育でございますので、何らかの形でお力添えいただけるようにお話をしたところでございます。

以上で私のほうの報告は終わります。

その他ご発言ございますでしょうか。

村杉議員

生活習慣病予防健診の事業について、ご報告をさせていただきます。

この健診は中学生を対象に、コレステロールですとか、貧血ですとか、そのような生活習慣病に関わる血液検査をする事業ですが、今年度は対象が1,477名のところ、実際に受けられたのが1,084名で、73.4%の子どもたちが健診を受けていらっしゃいます。これは、かなり多くの子どもたちが受けているということで、今後の子どもたちの生活習慣を見直すためにも、大変有意義なことだと思います。

東京都は62自治体あるとしますと、17がこのような健診をしておりますので、まだまだ27.4%と少ないことではありますが、中野区は教育委員会のご協力を得まして、このような大変有意義な事業を進めさせていただいておりますので、またこの1,084名のうち、数名は専門医に受診しなければいけないような疾患も見つかっておりますので、その点でも大変有意義なことかと思っております。

以上、報告です。

入野教育長

他にご報告ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

その他発言がございませんので、委員活動報告を終了いたします。

<事務局報告>

入野教育長

続いて事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目「中野本郷小学校校舎等整備基本構想・基本計画（案）について」及び事務局報告の2番目「平和の森小学校校舎等整備基本構想・基本計画（案）について」は関連しますので、一括して報告をお願いいたします。

子ども教育施設課長

それではまず「中野本郷小学校校舎等整備基本構想・基本計画（案）について」ご報告いたします。

こちら中野本郷小学校の改築につきましては、令和元年度に基本構想・基本計画の検討を行ってございました。その際に、基本構想・基本計画（案）につきましても、令和2年1月の教育委員会におきまして、ご報告をさせていただいたところでございます。

その後、令和2年度の中で予定しておりました基本設計・実施設計の業務委託につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴います区財政への影響を鑑みまして、予算執行については、一旦停止をさせていただいたところでございます。

今年度策定したところでございます中野区立小中学校施設整備計画（改定版）、こちらによりまして、中野本郷小学校の新たな改築スケジュール等を定めましたので、改めてこちら基本構想・基本計画（案）につきまして、教育委員会においてご報告をさせていただくものでございます。

別添資料のほうを早速ごらんいただければと思います。基本構想・基本計画（案）でございます。

最初の1ページでございますが、こちらで整備スケジュール等の予定をお示ししてございます。令和4年度、5年度、来年度から2年間、基本設計・実施設計の作業を行いまして、令和6年度から校舎の改築工事に着手する予定としてございます。

こちらの建て替え期間中、工事期間中につきましては、中野本郷小学校は旧中野第一小学校の校舎を代替校舎といたしまして、その後、令和8年度中に新校舎の供用開始を予定しているところでございます。

以降のページは、新校舎整備に当たっての基本的な方針、施設規模、配置等に関する考え方について記載をしておりますが、5ページをごらんいただければと思います。

5ページの下のほう、3の(2)ということで、中野本郷小学校新校舎の整備コンセプト、こちらについてご紹介したいと思います。

コンセプトとしましては、「子どもたちがのびのび、気持ちよく過ごせる学校として整備」をする。「自然教材園（グリーンガーデン）を活かした、みどり豊かな学校として整備」をする。「地域の活動拠点となる、親しみの持てる学校として整備」をする。こちら3点を中心としまして、新たな校舎整備を進めていきたいと考えてございます。

また以降、そういった考え方について詳細を記載してございますが、12ページから、具体的な建物配置とか、平面図について記載してございますので、こちらのほうをご紹介したいと思います。

新たな校舎につきましては、地上4階建て、実際には3階までに教室等を配置しまして、4階はプール等に出るための小さなスペースということでございます。4階建てになりまして、予備教室も含めまして18教室、普通教室を整備いたします。こちらにつきましても、将来の児童数の増減に影響の出ないような形で、予備教室を確保する。そういった考え方でございます。

この学校の特徴でもございますグリーンガーデンでございますが、校舎の北側に、そのままの位置に配置したままでございますが、当然新校舎における環境学習ですね。こういっ

たところに、ぜひ、より一層注力していただければということで、こちらの環境学習にも十分活用していただけるように、現在の環境を極力残しながらも、ただ、新しい校舎にふさわしいような形で、できるだけ生かした形で、部分的には改修整備を改築と併せて進めていきたいと考えているところでございます。

簡単ではございますが、以上となります。区民の方への説明会のほうを予定してございまして、3月26日と28日に開催したいと考えております。そういったご意見等を踏まえて、来年度以降の基本設計・実施設計の作業のほうにも反映していきたいと考えているところでございます。

中野本郷小学校につきましては以上でございまして、もう一つ、平和の森小学校のほうに移らせていただきます。

平和の森小学校につきましても、新校舎の基本構想・基本計画（案）のご報告でございまして、こちらも同様に、今年度策定した中野区立小中学校施設整備計画（改定版）に基づいて、新校舎整備を定めているところでございます。

資料のほうをごらんいただければと思います。

1ページでございますが、新校舎整備のスケジュール、こちらをお示ししてございます。来年度令和4年度から基本設計・実施設計の作業に着手いたしまして、こちらにつきましては、令和6年度途中まで実施設計の作業を行う予定としてございます。

実際に令和7年度の途中に新校舎工事に着手をしたいと考えております。それまでの期間中におきましては、現在、建設敷地内に建っております既存建物、こちらの除却工事と、旧中野刑務所正門、旧豊玉監獄表門ということで、こちらの曳家作業を完了させる。そういった計画となっております。令和7年度の途中から2年半ほど新築工事を行いまして、令和9年度途中で新校舎の供用開始、こちらを見込んでいるところでございます。

こちら先ほどと同様に、以降のページで新校舎整備に当たっての基本的な方針等について考え方を記載してございますが、7ページをごらんいただければと思います。

7ページで、平和の森小学校の新校舎の整備コンセプトとして掲げてございまして、こちらに関しましては、「子どもと教科と社会を『むすぶ』新校舎」ということで、コンセプトを掲げてございます。

それについての基本方針として6項目、下のほうに掲げております。

平和の森小学校の特徴といたしましては、ほかの区内の学校と比べましても、非常に児童数、そして学級数が多くて、区内でも最大規模の学校である。そういった小学校でござい

ます。ですので、限られた空間を最大限に効果的に活用していきたいという、そして児童ですとか教職員の方々が活動しやすい、そういった空間づくりを効率的にしていきたいという思い、これをもとにこの6点、基本方針を考えてございます。

また14ページ以降をごらんいただければと思います。建物配置、平面図について記載してございます。

平和の森小学校の新校舎につきましては、地上5階建てでございます。4階までは普通教室、特別教室等を配置いたしまして、5階部分は屋上プールへの出入り口と、更衣室等を配置するといった予定でございます。

普通教室の数でございますけれども、将来の児童数推計ですとか、あと学区域内での再開発、そういったまちづくりの計画等も考慮いたしまして、最大で33教室、普通教室を確保できる。そういった計画としているところでございます。

こちら先ほどの中野本郷小学校と同様に、区民向けの説明会を3月23日、そして27日に開催する。そういった予定でございます、そこでのご意見等も踏まえて、同様に、来年度以降の設計作業に生かしていきたいと考えているところでございます。

報告は以上でございます。

入野教育長

ただいまの報告につきまして、ご発言がありましたらお願いいたします。

田中委員

説明ありがとうございました。中野本郷小学校、特徴のグリーンガーデンを中心に、とても楽しみな計画だなと感じました。

教えてほしいのですが、既存の学校、統廃合とは関係なく、新たに新築というのは、区内では初めてのケースになるのでしょうか。

子ども教育施設課長

委員ご指摘のとおり、今回統合、再編を伴わない校舎の建て替えという意味合いでは、中野本郷小学校は区内で初めてのケースでございますので、今までの統合校の建て替えにおいては、例えば引っ越しのタイミングだったりだとか、それぞれ再編、2校が一つになるということもあったので、様々準備等も、そういった点での準備、新しい校舎の考え方というものもあったのですが、中野本郷小学校はそのまま引き継いでと言いますか、もともとの伝統ですとか、特徴をそのまま引き継ぎながら、中野本郷小学校の校舎を新しくしていくという考え方ですので、今後、来年度以降、統合と再編を伴わない学校の改築も、順次スター

トしてまいりますので、まず最初のこの中野本郷小学校も、ぜひ、いい学校にしていきたいと考えてございます。

田中委員

ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

それと、さっきの地図を見ていて思ったのですけれど、いわゆる統廃合を伴わないということで、今の学区の子どもたちが、そのまま中野第一小学校の旧校舎と、全く別の学区へ通学することになるのですけれど、その辺というのは、課題とかというのはあるのでしょうか。特に問題なくできることなんでしょうか。

子ども教育施設課長

工事期間中、確かにお隣の学区域にある旧中野第一小学校の校舎に通っていただくような形になりますので、当然児童の通学距離が長くなるケースも出てくると思ひます。今地域の町会等の皆さん等も含めまして、子どもたちに安全に登校していただけるような取組というところを、まさしく今、協議をしながら進めているところでございますので、令和6年度から、そちらのほうに不安なくお通ひいただけるように取り組んでまいりたいと考えてございます。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。人口の動向が、新型コロナウイルス感染症の影響もあって、いろいろわからない面もあると思ひますし、お話にもあったように、新しい学びのスタイルということもあるので、校舎もそういったことに対応できるものにしていくことが必要かなと痛感しております。今回コンセプトを出していただいて、とてもよかったなと思っております。それぞれ学校のよさを生かしながら、コンセプトに基づいて、すばらしい校舎ができたらいいなと思ひています。

それで一つご質問というか、教えていただければと思ひのですが、そういった人口の変化ですとか、新しい学びに対応するということで、いろいろ工夫をされていると思ひのですけれど、どちらの小学校もなのですが、どういった工夫で、教室数の増減とかに対応できるような形になっているかということをお話いただければと思ひました。

子ども教育施設課長

おっしゃるとおり、児童数ですとか学びのスタイルというものは、今後、一定程度推計値は設定した上で、そこに十分対応できるようにはしてございますが、新校舎を建てた後は、この建物を80年から100年近くは使用していく。そういった考え方でございますので、将

来にわたって有効に活用できるような学校施設としていくところでございます。

具体的に申し上げますと、子どもの数が増えるだけでなく、減ることも当然考えられる。そして教室のあり方ですとか、先生方の動き方ですとか、今では想像もつかないような状況になることも十分考えられますので、今後の学校施設の考え方としては、当然、今のスタイルにもマッチするのと同時に、将来どのような形になっても、フレキシブルに教室の形だったりですとか、行動範囲とかをいろんな形に設定できるような、そういった柔軟なタイプにしていけるように、極力、例えば建物の構造の考え方ですとか、部屋の壁の考え方、そういったところは、将来にわたって活用できるような、そういった設計思想を持ちながら、また設計作業を進めていくところでございます。

伊藤委員

ぜひフレキシブルに、いろいろな形で活動ができるように、またスペースを、ゆとりを持った形で確保できるように、本当に図面を見ましても、狭い土地の中で工夫していただいていると思うのですが、既存のこれまでの校舎の考え方に縛られず、それを超えるようなフレキシブルで楽しい学校づくりというのを、ぜひしていただけたらと思います。オープンスタイルの教室とか、いろいろな形の教室というのがあり得ると思いますので、お考えただけでよかったなと思います。これからもよろしく願いいたします。

村杉委員

今後、また医療的ケアの必要な子どもたちの入学が、可能性はあるかと思いますが、そのような子どもたちに対してのある程度の、先ほどのフレキシブルな設備と言いますか、あとはバリアフリーに関して、どのようになっているかを教えていただけますでしょうか。

子ども教育施設課長

今、委員からご指摘がありましたように、まずバリアフリーにつきましては、特に医療ケアの必要なお子さんに対しても十分対応できるようにしていく考え方がございます。

先ほど来、お話にありますように、将来的に、どのように求められる施設の姿というものが変わっていくか、想像もつかない部分ではありますので、建物の躯体はしっかりつくつつも、先ほどの話にも共通するのですが、中の、内部間仕切りですね。そういったところだったり、仕上げ材ですとか、そういったところも、いわゆるリフォームしやすいようにつくっていきたいと考えております。医療ケアだけではなくて、ほかの新しい要素を必要とするお子さんが今後いらっしゃる可能性も当然ありますので、いかような形にも極力対応できるようにしていきたいなというところでございます。

岡本委員

ご説明ありがとうございました。区民への説明会のところでお伺いしたいのですが、区報、ホームページ等により周知されるとありまして、多分「等」に入っていると思うのですが、特にこちらの当該の小学校の保護者や地域の方、保護者等に特別にご案内等されるご予定があるかどうか教えていただけますか。

子ども教育施設課長

当該校の児童の皆さんには、この新しい基本計画・基本構造（案）ができましたということで、お一人おひとりに周知させていただいてございます。この説明会についても、併せて周知しているところでございます。

岡本委員

よかったです。待望の校舎という地域もあると思いますので、ぜひそのあたりは丁寧に対応を引き続きしていただければと思います。

よろしくお願いします。

田中委員

もう1点お聞きしたいのですが、ちょうど先ほど教育長のご挨拶にもありましたけれど、感染症のことが落ち着いても、また今後こういった、今起きているようなことが、可能性としてはあり得ると思います。現時点で、この設計の段階で、そういった感染症に対する配慮みたいなものを考えていらっしゃったら教えていただければと思います。

子ども教育施設課長

建物そのものというよりは、いわゆる設備の部分での充実を図っていくところでございます。例えば換気扇設備ですね。既存の校舎には換気扇は、普通教室に入っている教室、入っていない教室、まちまちなのですけれども、少なくとも新しい校舎につきましては、全教室に換気扇をしっかりとつけて、換気扇も熱効率が落ちないような、冬場でも暖房をつけていますので、換気を回すことで冷えないような、そういったタイプの換気扇を使ったりですとか、あと、手洗いですね。自動水洗を、例えば廊下にある手洗い、想像つくかと思うのですが、あれを全て自動水洗にしてしまうと、ほかの使い方、今、蛇口を上に向けたりですとか、絵の具道具を洗ったりとか、いろんな使い方がある中で、全てを自動水洗にしてしまうと、学校の学習環境上うまくいかない部分もあるので、必要個数ですね。お手洗いは全て自動水洗で、廊下にある手洗いも1カ所、2カ所だけは自動水洗にするですとか、そういった形で、子どもたちの衛生環境を保ちつつも、教育環境に極力影響が出ないような形

ということで、工夫しながらつくっていきたいと考えております。

田中委員

80年、100年使う建物ですので、設備面ですから、今後の改築も可能ですけれども、できるだけ対応をお願いしたいと思います。

伊藤委員

これは何度か以前にも話題になったことなので、単に確認なのですけれども、平和の森小学校、どうしても中野本郷小学校に比べて、1年間長くなってしまう部分があるのですけれども、それは法務省のほうからだったかと思えますけれども、土地を取得したりですとか、それに関わる様々なことがあるために、旧中野刑務所正門の移築もあるのですけれども、それを除いても、どうしてもこうしたスケジュールになるということだったかと思うのですけれども、そういう理解で大丈夫でしょうか。

子ども教育施設課長

平和の森小学校でございますが、確かにこれまで当初の計画から、大分新校舎の整備が遅れている状況でございます。様々土地の取得に時間がかかったりですとか、旧中野刑務所正門の取り扱いの件ですとか、そういった事情もございました。

単純に整備期間としての捉え方としましても、平和の森小学校はやはり大規模校なので、床面積がおおよそ1万2,000平米と、今までの学校の中で一番大きな平米数になる予定でございます。それに対して、中野本郷小学校が9,000平米弱ですので、やはり2割、3割ぐらい、床面積が平和の森小学校が大きいので、その分整備期間も長くなるという、そういった事情もあるところでございます。

伊藤委員

あまり詰め詰めにして、無理があっても困ると思いますので、きちんと立派なものをつくっていただければと思いますので、なるべく早くというか、迅速にということも念頭に置きながら、丁寧にきちんとしたものをつくっていただけるとありがたいなと思いました。

よろしく願いいたします。

入野教育長

他にご意見ございますでしょうか。

確認でございますが、新しい校舎をつくるのに、委員会を立ち上げておりますよね。そういう方々への説明の日程が入っていないのですが、それはもう終わっていると考えてよろしいのでしょうか。

子ども教育施設課長

まず中野本郷小学校でございますけれども、こちら改築推進委員会が、地域の町会の方ですとかP T Aの方々、あと地域で教育活動にご協力いただいている方を中心にお集まりいただいて、こういった基本構想・基本計画（案）について、いろいろご意見をいただききたところでございます。今回こちらの説明会に至るといふところにつきましても、既にご報告を差し上げたところでございます。

平和の森小学校につきましては、統合時に統合委員会というものが地域の中で設置されておりましたが、それは言わば10年以上前の当時でございますので、新校舎整備につきましては、直接的にそういったメンバーの方々とやり取りをしてきてはないところでございます。

ですので、今回新たなこの基本構想の考え方につきましては、地域の町会の方々に直接ご説明に上がる。そういった予定でございます。

入野教育長

2点目は私の感想なのですが、実は中野本郷小学校の予算執行が止まる前に、教育委員会で子どもたちとの対話集会があって、子どもたちから新校舎に対する思いですとか、意見とかというのを聞いたときに、やはり一番大きかったのがグリーンガーデンだったと思いますし、それから地域の方と一緒に、たしか今の飼育小屋のお世話ですとかという話も出てきたような、そういうのは残していきたいみたいなお話があったように記憶しております。そういう意味でも、このコンセプトの中に入っているということはよかったかなと思っております。

平和の森小学校についても、子どもたちから何らかの意見を聞いているということでございますので、いいものにしていければなと思っております。

ほかにはよろしいでしょうか。

それでは本報告は終了いたします。ありがとうございました。

それでは最後に、事務局から次回開催について報告願います。

子ども・教育政策課長

次回の教育委員会は3月25日金曜日10時から、当教育委員会室にて開催いたします。

なお、来週3月18日は区立中学校の卒業式のため、休会となります。

以上でございます。

入野教育長

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして教育委員会第8回定例会を閉じます。

ありがとうございました。

午前10時34分閉会